



2024

# 内容見本

はなごよみ

## 本誌の方針

歴史的かなづかひは二十一世紀の現代にも生きてゐる

一 全頁が歴史的かなづかひ（固有名詞や引用文などは除く）

・ 正字・正かな（舊字・舊かな）、または新字・正かな（新字・舊かな）

・ 漢字圈に長らく略字の傳統がある事は認め、時にはそれも使つて書く場合もあるものの、略字は略字であり、正字をお蔵入りにして略字を正字に格上げする事には反對する

二 「似非舊假名遣」ではなく、本物の歴史的かなづかひ

三 「歴史的かなづかひⅡ懷古趣味」といふ先入觀の打破

四 「歴史的かなづかひによる原稿が表記を改竄されことなく當然掲載される時代」を作り上げていく

歴史的かなづかひは一部の人だけのものではなく、讀みたい・書きたい「みんなのもの」である

# 目次

## 國語國字問題特輯

略字の傳統を正しく理解させよう

國語問題ブックガイド

ブックガイドなにそれおいしいの

書評

古本をオンラインで探す方法

驛名標・發車標と國語國字問題

古文書講座——書いて空氣を肌で知る

## 歴史的かなづかひの實踐篇

歩みの念 第八章

占ひ師にならう

愚想の寄せ集め 其の四

フェディバースのスゝメ

めだかを飼ふ 二〇二四

原稿を書いてみませんか

押井徳馬

くまくん

blueday

コシヌケ1040

押井徳馬

くまくん

明日楨悠

刑部しきみ

名賀月晃嗣

コシヌケ1040

blueday

4

7

17

19

20

23

31

35

46

58

65

70

72

表紙

コシヌケ1040

# 略字の傳統を正しく理解させう

押井徳馬

一 年振りのこんにちは。または、はじめまして。『みんなのかなづかひ』編輯兼發行人の押井徳馬と申します。

令和五（二〇二三）年六月、本誌は國語問題協議會の理事會で「推薦圖書」に選定されました（推薦者は私ではありません）。昭和三十四（一九五九）年設立された、國語國字問題では大先輩のグループですが、本誌の活動に注目していただき、感謝いたします。今後も頑張つていきます。

私の幼い頃は、まだ戦後三十數年、祖父母は戦前教育世代で、家に來る手紙は正字・正かなでした。正字・正かなの出版物に觸れる機會もあり、「二種類の國語の標準がある」事に子供の頃から氣附いてゐました。大人になると、コンピュータで正字・正かなの文書を書く方法がある事を

知ったり、福田恆存『私の國語教室』を読み、「讀むだけの表記ではなく、書いてもいいのだ」と氣附きました。失はれつつあるこの表記を「生きた文化」として残すために、本誌の前身である『正かなづかひ 理論と實踐』を發行したのが、今から十二年前の事です。後に國語問題協議會にも入會し、現在は常任理事の一人として活動してゐます。

本誌には正字・正かなの記事に加へ、新字・正かなの記事も存在します。これは、原則として正字・正かなの記事しかない『國語國字』（國語問題協議會の機關誌）と異なる方針ですが、この機會に、私の「略字」についての考へをまとめておきます。

## 傳統的な略字と國語改革の略字

ひらがなの「れ」が「禮」ではなく「礼」に由來するやうに、略字は千年、二千年もの昔から支那や日本で作られ書き續けられてきました。しかし正字が消されたわけではありません。たとへば、先に挙げたひらがなの「れ」には「礼」を崩した「れ」だけでなく、「禮」を崩した「禮」もありました。日常生活では「画」と書く事が多くても、學校では「畫」の字を「正規の字」としてきちんと習ひました。現代の私達が略字の「才」を書いても、正字の「第」も知り、決して捨てないのと同じ事です。

一方、文部省臨時國語調查會が昭和六年にまとめた『常用漢字表』（GHQがいきなりではなく戦前から日本人の手で試案が作られてゐた）では、從來使はれてきた略字を選定してゐるので、一見似たものに見えますが、背後の考へは似て非なるものでした。「本表ニオイテハ（）印ヲ附シタ現字ヲ捨テ、コレニ對スル簡易字体ヲ一般ニ採用スル積デアル。」とし、要は「正字の使用を制限し、略字を正字に格上げする」のが目的でした。なほ、「本表ニナイ漢字ハ假名デ書ク。」とあり、漢字制限も目論んでゐました。

略字とは「使用頻度の高い字ほど作られやすい」性質が

あります。たとへば「釋・澤・驛」は「釈・沢・駅」ですが、「演繹」の「繹」は、旁を「尺」にした略字はまづ見ません。「擴張新字體」のやうに旁が同じものを同じ文字部品で一律略す方法もありますが、何萬字もある漢字に適用するとなると際限がありませんし、他の字と「字形がかぶる」事もあります（「佛・拂」を「仏・払」と書くからと「費」の上部を「ム」にすると、「員」の異體字になります）。「一部の字だけ略字なので文字部品が不整合」なのは、「元の正字」を皆が知ってゐれば混亂も少なめなのですが、「正字をお蔵入りにして、略字を正字に格上げ」すると、容易に秩序が破壊されます。

## 活字體と書寫體

略字の話からは少し外れますが、『絆』の右上は『ハ』の形で書かないと誤りなのに、『ソ』の形で書く誤りが多い」といふ意見を聞く事がたまにあります。しかしこれは「活字体と書寫體（手書きの文字）」を混同してゐます。書寫體ではどちらで書いても正しく、むしろ『ソ』の形で書く（絆）方が多い程です。『辻』の之繞は二點之繞でない（絆）といふのも同様で、傳統的な書道では之繞を表内字も表外字も一點にくねる形（辻）で書くのが普通です

多くが長い傳統のある略字から選定された新漢字と、傳統に反し、前例のない表記を創作した新かなづかい。どちらの問題を優先させるかと問はれたら、私は迷ひなく後者を選びます（勿論前者は、正字をお蔵入りにする事や漢字制限に反対するのは言ふまでもない）。略字は「正字を知った上で、略字と割り切つて使ふ」といふ條件なら、まだ妥協の餘地がありますが、かなづかひについては譲れません。世間は前者に注目し後者を輕視しがちなのが残念です。

略字で書く場合もあるとしても、せめて「正字といふ『建前』の存在」を博く國民が知る事が必要だと思ひますし、せめてかなづかひは正かなづかひを原則としたいものです。（※本稿の本文書體は「暫定正字明朝」を使用してゐます。このフォントは文字文化協會のウェブサイトから無償でダウンロード出来ます。）

## A simple line drawing of a cat sitting and reading a book. The cat has a question mark above its head, indicating it is confused or curious. The book is open, and the cat is looking down at the pages.

# 國語問題ブックガイド

くまくん

## 私の國語教室

福田恆存

文春文庫

歴史的かなづかひを擁護する意見として絶對外せない本。それを現代の日常の言葉として書く人の大半が本書の影響を受けてゐると呼んで過言ではない。現代の若者でさへ例外ではない。

本書は歴史的かなづかひに對する批判に反論し、歴史的かなづかひの「表記法は音ではなく、語に隨ふべし」と説く。翻譯家らしく西洋の言語のス

ペリングに似たものと言ひ、「たとへ表音文字を用ゐても、私たちの内部には、語としての表意性への志向といふべきものが、ほとんど本能的に働いてゐる」と述べる。後の章では歴史的かなづかひ習得法や文法的な解説、最終章では國語改革の歴史的背景も解説。

## 國語問題のために

——國語問題白書——

時枝誠記

東京大學出版會

英文學の翻譯者としての視點から國語國字問題を觀察した福田恆存と違ひ、文法を研究する國語學者としての視點からそれを觀察。假名遣改革や漢字簡略化等がむしろ傳達の阻礙や體系の崩潰を引き起こした、と問題點を指摘してゐる。特に戦後の國語改革を「交通問題の解決としてただ自動車を減らす」事に喩へてゐるのは秀逸。卷末の國語問題年表も參考になる。絶版だが國會圖書館のサイトで閲覧できる（要登録）。

## 國語問題論争史

土屋道雄

玉川大学出版部

かなづかひの起こり、江戸時代に始まる漢字廢止論、明治から平成にかけての國語國字改革をめぐる動きと、國語改革の歴史的經緯を時系列順に解説。

## 国語改革を批判する

丸谷才一編著

中公文庫

六人による共著。戦前戦後の國語改革の經緯、漢字廢止論への反論と漢字の擁護、國語改革のもたらした弊害等。「五委員の脱退は目ざましかったが、すでに國語の破壊は九分通り完了したあとだった。」「破壊することは簡単だが、復旧することはむずかしい。」といふ言葉が印象に残る。

## 日本語大博物館

紀田順一郎

ちくま学芸文庫

活版印刷、寫植、謄寫版、和文タイプ、ワープロ、カナ文字運動、ローマ字國字論、人工文字、漢字廢止論、横書きと、近・現代の日本語にまつはる逸話を、豊富な圖版と共に紹介。

## 旧字力、旧仮名力

青木逸平

日本放送出版協會・生活人新書147

「旧字力」と「旧仮名力」の二つの章に分れ、それぞれ「舊字の讀み方」「舊假名の書き方」を紹介。どのやうな經緯で「舊字・舊假名」と「新字・新假名」が存在するかの紹介があったり、練習問題もあったりと、入門者にもお勧め。

## 本字を知る楽しみ

あるある1000漢字

文字文化協會

故・石井公一郎氏が國語問題協議會機關誌『國語國字』第二〇二號（平成二十六（二〇一四）年發行）に掲載した嚴選百字を基に進められた「正漢字100字運動」の成果で、いはゆる「舊漢字」を扱った本として恐らく戦後初の「學習漫畫」。古代の文字の形の横に、その元となった繪があり、頭でイメージしやすい。漢字を取り上げる順番も、「人名や固有名詞等で馴染み深い字」から始めて自信を付けていきながら、「戦前の本で頻出だが初見殺しの字」にだんだん進んでいくと云ふ、まるで某學習塾の教材のやうな進め方。百字嚴選だが、ここまで分れば大分讀める。なほ、この百字の一覽表は文字文化協會のウェブサイトでも無償ダウンロード可。



によって政策的につくられ、教育で叩きこまれたものである。百年ちよつとの歴史しか持っていない。」と述べる循環論法に注意。定家・契沖・宣長らの成果がまるで無視されてゐる。「けつして歴史的仮名遣を拒否するものではない」と述べながらそれを「悪魔の規範」と呼ぶ。世間に流布する「歴史的かなづかひ明治起源説」の種本なので、この種の批判に對する理論武装として目を通しておく事をお勧めする。

## 言海

大槻文彦

ちくま学芸文庫

明治二十二年に初版が發行され、昭和初期まで著名な作家を含め大勢の人々に愛用されてきた國語辭典。語源の豊富な解説もある。「ん」が「む」の並びにある事、漢字の音讀みは字音假名遣である事、見出しや本文に一部變

體假名や合略假名が使はれてゐる事（ただし種類は少なめで覆刻版の後ろに解説あり）事のお約束に慣れれば便利に使へる。

## 楷行草筆順・字体字典

江守賢治

三省堂

活字體ではなく、手書きで舊漢字を書く時に役立つ。戦前・戦後の國語教科書の教科書體ではなく、書道的な楷書體の傳統を基準として、楷書・行書・草書での筆順を解説。「木」の縦棒を撥ねる撥ねない等、教科書體と傳統的な楷書で書き方の異なるものはその旨記載あり。舊漢字の筆順や、「楷書の字体一覽」として「楷書として望ましい形や許容される形」「舊字體の活字に寄せた書き方と楷書の傳統的な書寫體」の相違がわかる資料も。

## 全訳 漢字海

戸川芳郎 監修

佐藤進・濱口富士雄 編

三省堂

字音かなづかひは「キ・クキ」「ギ・グキ」「ケ・クエ」「ゲ・グエ」等を書き分ける方式を採用してをり、その方式で書く場合は必須。現代中國語音の拼音、電子機器用のJISコードとユニコード、常用漢字の書き順、漢字の「なりたち」（字形と語源。『説文解字』の「釋名」による）も載せられてゐる。熟語の見出し語は字形差の大きな舊漢字を括弧書きしてゐるのも便利。

## 角川國語辭典

久松潜一、佐藤謙三

角川学芸出版

新字・新かなによる見出し語に、歴史的かなづかひ・舊漢字・共通語アク

## インターネット上の資料

### ■ 歴史的仮名遣い教室

<http://accent.main.jp/kana/>



歴史的かなづかひの書き方について、背景となる考へ、書き方の決まり、迷ひやすいかなづかひ等、全般的に網羅して解説。Microsoft IME 搭載のパソコンで正字・正かなの文章を入力するための変換辞書『快適仮名遣ひ』も頒布。

### ■ 言葉 言葉 言葉

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~w3c/kotoba/>



國語國字問題の解説やリンク集等、膨大な資料を集めた「國語國字ポータル」。Google 日本語入力で正字・正かなの文章を入力するための変換辞書も頒布。

### ■ 國語問題協議會

<http://kokugomondaikyo.net>



『國語問題論争史』を全文讀める。また、「日本語あやとり」ブログは正字・正かなへの反対意見に対する反論が数多く掲載されてをり参考になる。

### ■ 日本語變換ソフト「契沖」

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~keichu/>



正字・正かなによるかな漢字變換ソフト「契沖」の開発者による。歴史的かなづかひで書く人にもとかく面倒がられる字音かなづかひだが、「契沖」の獨白——字音假名遣を考へる——といふ記事では、それを決して輕視してはならないと説く。

### ■ 令和疑問かなづかひ

<https://sites.google.com/view/gimon/>



國語問題協議會常任理事の高崎一郎氏による。現代の生きた規範としての歴史的かなづかひの構築を目指す。假名遣の詳しい便覧『令和疑問假名遣』のPDF版を無償頒布（有償の冊子版もあり）。とりわけ字音かなづかひに詳しく、同會や姉妹團體の頒布する出版物やソフトウェアは同氏のまとめた情報を頼りにしてゐる。正字・新字、正かな・新かなを同一テキストファイルで何度でも切替可能な「雙表記テキスト」を考案し、作成や表記變換を行ふソフトウェア「やちまた」も無償頒布。

## ■ 荒魂之會

<https://aratanokwai.github.io>

古くからある國語國字問題を扱ふグループの中でもコンピュータに詳しい。Google 日本語入力で正字・正かなの文章を入力するための變換辭書も頒布。



## ■ 文字文化協會

<http://www.pcc.or.jp>

正字・正かなによる出版物を多く發行。「漢字基本字形・正字」のコーナーでは「百漢字 正字新字一覽表」「暫定正字明朝フォント」を無償頒布。



## ■ 正かなオルグ seikana.org

<https://seikana.org>

「正かなづかひ(歴史的假名遣について、各自が學んだり考へたり讀んだり書いたりできる(といいなァといふ)、そんな感じのサイトです。」論説、隨筆等。



## ■ みんなのかなづかひ

<https://osito.jp/minkana/>

正字・正かなをコンピュータで扱ふ方法、反對意見への反論等。



## ■ 国語施策・日本語教育 | 文化庁

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo\\_nihongo/](https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/)

國語審議會の議事録、漢字制限や表音假名遣の案など、戦前から戦後に至る國語改革の歴史を證言する豊富な資料あり。



## ■ 国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp>

國會圖書館の蔵書を検索可能。古い圖書の中には、ログインなしで、または登録ユーザが無料で閲覧出来るものもある。戦前の文獻の調査には欠かせない。



## ■ 青空文庫

<https://www.aozora.gr.jp>

著作権の切れた文藝作品を多數収録。所謂「いはゆる舊字・舊かな」による作品も多い。





## 言語の本質

・今井むつみ・秋田喜美

・中公新書2756

・二〇二三年五月二十五日發行

## 本

書は國語國字問題と直接の關はりのあるものではない。文字で表記される書記言語について何も觸れてゐない。しかし、本書の最後に纏められた、筆者らの考へるところの「言語の大原則」は、口頭言語に限定されるものではなく、書記言語にも十分當て嵌まるのではないか、と評者には思へた。大項目を引用しておく、①意

味を傳へること、②變化すること、③選擇的であること、④システムであること、⑤擴張的であること、⑥身體的であること、⑦均衡の上に立つてゐることの七つである。

筆者らが「言語の本質」に迫る切り口としたのはオノマトペである。本書ではオノマトペについて掘り下げた後、(1)オノマトペが子供の言語習得過程で果たす役割、(2)オノマトペとそれ以外の言葉の關係、(3)子供の言語習得過程で働く推論について論じ、人類と他の動物の思考様式の違ひと、それが言語を操る上で果たす役割について述べる。「アブダクション推論」Ⅱ「後件肯定の誤謬」こそが人類の言語能力、思考能力の基礎、といふ説は、なかなか考へさせられるものであつた。

(名賀月晃嗣)

## 至福の朝鮮語

・野間秀樹著  
・朝日出版社

## 文

法を中心に、朝鮮語の初歩を學べる本。朝鮮語は漢語の語彙を多く含むが、本書では新出單語の一覽に朝鮮語のハングルと和譯だけ載せて満足する事なく、漢字のある語にはきちんと漢字も載せてゐる。漢字といふ架橋で朝鮮語と日本語の漢語を關聯附けて憶えられるのは、當然あるべき姿とはいへ、非常に助かる。また、朝鮮語の漢語は正漢字で書かれてゐる上、「同音の漢字による書きかえ」のされてゐない表記なのが羨ましい。

卷末には「日本語・朝鮮語 漢字音対照表」があり、現代仮名遣い・字音假名遣(『学研漢和大事典』の方式・日本の漢字・韓國の漢字・ハングルの一覽となつてゐる。字音假名遣とハングルの關係が、現代仮名遣いと異り、或程度は近い事が分り興味深い。

(くまくん)

# 古本をオンラインで探す方法

コシヌケ1040

か

なづかひを含む國語問題を扱った本や、學術的な國語關聯の本には残念ながら絶版本も少なくない。著作權が切れた古い本なら國立國會圖書館のデジタルアーカイブで読み放題なのだが、さうでない最近の本でも専門書だと街の圖書館にはあまり期待できないし、都道府縣立圖書館や東京の國立國會圖書館まで足を運ぶ必要がある（尤も事前にサイトで藏書を檢索できるので相當便利ではあるが）。また、いつでも参照できるやうに安く手に入れたたいいふこともあるだらう。

そんな本をどう手に入ればよいか。近所から古書店が姿を消して久しいし、誰もが足しげく神保町に行けるわけでもない。そこで利用したいのが古本のオンラインストアだ。

アマゾン

<https://www.amazon.co.jp/>



言はずと知れた通販の黒船（といふにはすっかり馴染み深い存在であるが）。古い本になると書誌情報が出品者によつて作成されてゐるため、同じ本なのに別々のアイテムとして表示されてゐるとか、書影の畫像が正しいものか疑はしいこともある。

アマゾンでは古本はすべてアマゾン本體ではなく出品者による商品だ。大抵の古本は、表示されてゐる金額に加へて送料が二、三百圓以上かかるので、總額をよく確認した

# 驛名標・發車標と國語國字問題

押井徳馬

## 驛

名標（驛名の表示された看板）は戦前の國語「改良運動」に巻き込まれました。漢字廢止を訴へる團體のカナモジカイは漢字表記・歴史的假名遣・右横書きに反対し、カタカナ書き・表音假名遣・左横書きの驛名標を採用するやう運動し、一部は實現したやうです。しかし昭和二（一九二七）年、小川平吉が鐵道大臣に就任すると元に戻され、終戦まで概ねこの方針のまま續いたさうです。

現代でも驛名標や發車標（列車の出發時刻を示す電光掲示板）の表記を問題視する人々があります。驛によっては日本語・英語・中國語・韓國語（この記事では原則として、學術用語でいふ支那語を「中國語」、韓國の朝鮮語を「韓國語」といふ通稱で呼びます。とはいへ私は、文脈を読み取らず「支那」や「朝鮮」といふ言葉に反射的に「差別用語」

のレッテルを貼って無闇に排除する事にも反対します）の四言語で表示されてゐます。そこで「英語は良いが、中國語と韓國語は外せ」「發車標は常時日本語が出てをらず、咄嗟に見て行き先が分らない事がある」と言ふのです。

私とは言ふと、よく使ふ驛ならすっかり訓練され、「横濱／ヨコハマ（横濱）」「羽田机场／ハネダ空港（羽田空港）」等と簡化字（簡體字）や訓民正音で書かれても直ぐ分つて、特に不便を感じた事はありません。中國や朝鮮半島の現在の國語政策には、個人的に同意出来ない部分もありますが、それでも「中國語や韓國語を知る事は日本語を知る事にも繋がる（逆も然り）」と思ひます。

そして私としては、驛名標や發車標から中國語と韓國語を外せといふ運動は「排外主義團體が行ふ運動」といふ印

象がとても強いものです。その一つである「在特會」は「中國語・ハングル表記を今すぐ撤廢せよ！ 抗議街宣」と銘打った運動を行ってゐました。その爲、國語國字問題を考へる人の一部から最近、「國語國字問題の一環として、この問題に取り組むのはどうだらう」といふ意見が出た時、正直なところ私は「我々もいよいよ在特會みたいな『排外主義的右翼團體』として公安に目を附けられるのか」「言動に問題のある人を呼び寄せてしまふ事になりかねないのでは」と身構へてしまひました。

この記事では、この問題の背景や、これを國語國字問題として扱ふべきか否かについて考へていきます。

## 誰の爲か

この表記について「在日中國人・朝鮮人・韓國人や、これらの國のスパイを利する事は止めよ」と言ふ人がゐます。しかし前者の殆どは母國か日本で漢字教育を受け、日本に長年住んでゐて日本語も不自由なく讀めます。後者にしても、日本語が全く讀めないスパイが日本で堂々と工作活動をするはずがありません。

つまり中國語・韓國語表記の對象はそれ以外の中國人・韓國人の觀光客が中心と見て良いでせう。實際、羽田空港

に乗入れてゐる京急線では早くから採用されてゐましたし、私の觀察でも、觀光客のうち中國人や韓國人は、外國人の中でも特に多く見掛けます。

この表記について鐵道會社に文句を言ふ人もゐますが、鐵道會社の側から考へてみませう。中國人・韓國人の入國を許してゐるのは、鐵道會社ではなく日本政府です。入國時に「日本語か英語の讀解テスト」もありません。すると、鐵道會社は外國人の母語による案内を充實させる必要に迫られます。それが無いと、觀光客が細かな事まで驛員に外國語で訊ねたり、日本語による注意書きが讀めなかつた故のトラブルも増えるからです。ごみの分別やトイレレットペーパーの捨て方（配管を詰まらせない爲に屑籠に捨てる國もある）を中國語や韓國語でも書くなら、日本式のルールを相手の母語でも教へる事になり、マナーを知れば守れる多くの人は守るでせうし、残りの人も「日本語が讀めないのぞ知りませんでした」とは言へなくなります。排外主義者も「迷惑行爲を止めさせる注意書きを中國語や韓國語だけで書く」施設管理者に對しては例外的に拍手喝采するものですが、何故でせうかね。

|        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①語頭    | パ | バ | ダ | ザ | ガ | ン | ワ | ラ | ヤ | マ | ハ | ナ | 〃 | タ | サ | 〃 | カ | ア |   |
|        | 行 | 行 | 行 | 行 | 行 |   | 行 | 行 | 行 | 行 | 行 | 行 | ② | 行 | 行 | ② | 行 | 行 |   |
| ②語中・語末 | 파 | 바 | 다 | 자 | 가 | ㄴ | 와 | 라 | 야 | 마 | 하 | 나 | 타 | 다 | 사 | 카 | 가 | 아 | 아 |
|        | 피 | 비 | 지 | 지 | 기 |   | 이 | 리 | 이 | 미 | 히 | 니 | 치 | 지 | 시 | 키 | 기 | 이 | 이 |
|        | 푸 | 부 | 즈 | 즈 | 구 |   | 우 | 루 | 유 | 무 | 후 | 누 | 쓰 | 쓰 | 스 | 쿠 | 구 | 우 | 우 |
|        | 페 | 베 | 데 | 제 | 게 |   | 에 | 레 | 에 | 메 | 헤 | 네 | 테 | 데 | 세 | 케 | 게 | 에 | 에 |
|        | 포 | 보 | 도 | 조 | 고 |   | 오 | 로 | 요 | 모 | 호 | 노 | 토 | 도 | 소 | 코 | 고 | 오 | 오 |

圖 1 大韓民國の國立國語院による日本語の飜字法（抄）



圖 2 驛名標の例

|    |     |       |                |                               |       |
|----|-----|-------|----------------|-------------------------------|-------|
| 8秒 | 先発  | 15:16 | 普通             | 羽田空港                          | 第3    |
|    | 次発  | 15:20 | 空港線            | 羽田空港                          | 第3    |
|    | 次々発 | 15:26 | 普通             | 羽田空港                          | 第3    |
| ↓  | 先発  | 15:16 | 普通             | 羽田机场                          | 第3    |
|    | 次発  | 15:20 | 机场线            | 羽田机场                          | 第3    |
|    | 次々発 | 15:26 | 普通             | 羽田机场                          | 第3    |
| ↓  | 先発  | 15:16 | 普通             | 羽田空港                          | 第3    |
|    | 次発  | 15:20 | 空港線            | 羽田空港                          | 第3    |
|    | 次々発 | 15:26 | 普通             | 羽田空港                          | 第3    |
| ↓  | 先発  | 15:16 | Local          | Haneda Airport Terminal 3,1&2 | 第3    |
|    | 次発  | 15:20 | HANEDA EXPRESS | Haneda Airport Terminal 3,1&2 | 第3    |
|    | 次々発 | 15:26 | Local          | Haneda Airport Terminal 3,1&2 | 第3    |
| ↓  | 先発  | 15:16 | 普通             | 羽田空港                          | 第3    |
|    | 次発  | 15:20 | 空港線            | 羽田空港                          | 第3    |
|    | 次々発 | 15:26 | 普通             | 羽田空港                          | 第3    |
| ↓  | 先発  | 15:16 | 보통             | 하네다공항                         | 제3 제2 |
|    | 次発  | 15:20 | 공항고속           | 하네다공항                         | 제3 제2 |
|    | 次々発 | 15:26 | 보통             | 하네다공항                         | 제3 제2 |

圖 3 濱松町驛（モノレール）の發車標

|     |    |      |                |       |    |
|-----|----|------|----------------|-------|----|
| 6   | 特急 | 高砂   | Takasago       | 11:24 | 8両 |
| 4   | 快特 | 青砥   | Aoto           | 11:31 | 8両 |
| 6   | 普通 | 品川   | Shinagawa      | 11:33 | 6両 |
| 4   | 新行 | 羽田空港 | Haneda Airport | 11:35 | 8両 |
| 21秒 |    |      |                |       |    |
| 6   | 特急 | 高砂   | 高砂             | 11:24 | 8  |
| 4   | 快特 | 青砥   | 青砥             | 11:31 | 8  |
| 6   | 普通 | 品川   | 品川             | 11:33 | 6  |
| 4   | 新行 | 羽田空港 | 羽田机场           | 11:35 | 8  |
| 5秒  |    |      |                |       |    |
| 6   | 特急 | 高砂   | 다카사고           | 11:24 | 8  |
| 4   | 快特 | 青砥   | 아오토            | 11:31 | 8  |
| 6   | 普通 | 品川   | 시나가와           | 11:33 | 6  |
| 4   | 新行 | 羽田空港 | 하네다공항          | 11:35 | 8  |
| 9秒  |    |      |                |       |    |

圖 4 京急蒲田驛の發車標



# 古文書講座——書いて空氣を肌で知る

くまくん

いはゆる「舊字・舊かな」による活字の文書を不自由なく読む人にとつても、いや不自由なく書ける人にとつてさへ、「江戸時代の文書を読む」となると苦手意識を持つ事が多いものです。いはゆる「舊字・舊かな」による文藝や印刷技術を絶やすのは勿體ないと思つてこのやうな表記で記事を書いてゐる私でさへさうでした。

しかし平成二十九（二〇一七）年四月二十九日に幕張メッセで開かれた「ニコニコ超會議」に行つた時、それに挑戦しようといふ氣が突然起つたのです。江戸時代の地震について記録された古文書を「インターネットの集合知」を駆使して鵜飼する事で、後世の災害対策に役立てようといふ、「みんなで翻刻」といふブースがあつたからです。私も「崩し字字典」を引いたり先生に一對一で手傳つていただ

きながら、古文書の鵜飼を初體驗しました。老舗商店の看板にある變體假名程度なら大抵讀める私にも、流石に江戸時代の文獻となると讀める字を探す方が大變な程でしたが、それでもこの會場で半分程度は讀めたり、その後ツイッターで古文書のエキスパートに教へていただきながら、何とか全文字解讀する事が出来ました。その後は毎月「みんなで翻刻」の配信を見ながら、今月の課題を他の視聽者と一緒に解讀するうちに、江戸時代の文章を讀むのに少しずつ慣れていきました。

## 博物館の「古文書講座」に参加してみた

それから六年後、地元の博物館で「古文書講座」の参加

## 歩みの念

文・明日楨悠

## 八

いぢけた草木のおどろに繁茂する路なき路を當處なく突込んで如何なるものか。正氣の沙汰ちやあるまい。さなきだに町の素封家の傳に據ると此一帶は思惑の涯、現世に比類なき魔處なり。此路に迷ふ人は分らぬに怯んではない。心に落着きなく周圍を見れども、聞けども、感覺の餌食となる。或は意に適ふ處迄耳目を空うし飛んで往つて見給へ。其執着が君を妙な處に導く。是は極眞新しい土饅頭で鴉の仕業が無慘に暴かれてあつて、君の肉親によく似た白饅頭が外氣に曝され干乾びた黒髪の根元に黝い血や肉片など附いてゐるゝもあらう。頭の上の木末で誰とも附かぬ聲がしたら君の禍である。すぐ引きかへして一心に濃い酸素を求めて見給へ。忽ち林が盡きて空の一隅に古城の影

があらはれる。もし心惹かれて其方へ往かうとしても駄目だよ。お濠が張環らせてあつて近づかうにも如何しても路は通じてゐないのだから。命が惜しくば泳へて措給へ。城郭の上邊りをふはふは漂ふ人魂を見たと云ふ人もある。つんのめつて勾配へ落込むと、今迄見えた怖い景色が悉くさかしまになつて、垂れ罩めた精氣の生暖い谷の底に出るだらう。其は渾沌の極致、人境より劃られ靈氣に満たされた魔界で御坐る。瘦せこけ捻ぢくれた枯木の合間に半ば隠れ、埴土ともつかぬ表面に粘性の泡を吹かせ乍ら沼は腐臭を漂はせてくる。畔には厭らしい茸が蔓延つて盛んに胞子を撒き散らす。對岸では刈られるのを待つやうな枯芒の列が悄然とイんでゐる。君は必ず元の路に還りたいと願ふだらう。兎角じたばたするのは高みへ高みへと這ひ上がりたくなるのはなんとかして蜘蛛の巢の如き奸計を抜け出したいから

で、それで其望みは容易に達せられない。況してや甦りは決して出来ない。それは初めから魔境に埋もれたる人生。羈束なき浮浪の現身なり。斯くの如き末路を辿つた隠者、仙人が此一帶には忍んでゐる。若し君、仙人に遇ひたく思はゞ、齡古りた大櫓のうつろを覗き給へ。暗がりへ目を凝らせば、樹洞の褥に蛟の如く蟠つてゐるのは、皺くちやな全身の皮膚に岩茸のこびり附いたやうなむくつけき老婆。假に何か尋ねても聲は返つてくるまい。口腔をかばと開けた儘、いつ迄も押し黙つてゐるだらう。氣を附け給へ。其穴ぼこに嵌つた日には、君も仙客の一人となつて朽ち果てた柩の上に莫塵を敷いて終日あんぐりと明暮すゞだらう。周章てゝはならない、それが實は魔處近邊の廣さは僅か十丁にも満たないと云ふのだから。進退窮まつて喚くは癡である。藻掻いた處が元の木阿彌に過ぎない。眞逆様に自ら命を落とすこともあるまい。能く氣を落ち着け、眞でもふかして只待つが妙。さうすると思はぬ魍魎の妨礙を受けることがある。日が西に落ちるや否や東から出で、又た西へ落ちるや東から上り、是は眞の天道様かと怪訝の眼を瞪れば、煌く眞紅の玉は色も形も千變萬化する。丸餅の如く膨れ上つて爆ぜ、青白くなり、螢のやうに左へ右へ弧を描いて飛び回ると、電氣を帯びてゐるのか寒色の軌跡に稻妻が走つて、木下闇の一隅に留まると狂ほしく顫へて君の知つてゐる

る少年の聲で嗚咽に噎ぶ。耳障りな獻欵の高まりにつれ、燐光の顫動も鬱陶し甚だしくなり、其執濃さが極限を迎へると、波動がふつゝり絶え、一切は暗澹たる寂寥のうちに没してしまふ。灰を落とす、塵埃は風が吹き拂ふ、林が鳴る、新しく燐寸を點ける、煙が眼に沁む、そしたら成可く深く息を吐き給へ、假令天から見放されても君は未だ其處にゐる。何が起きようとも餘處に過ぎないのだから白々しい。突然又た日が射す。君は其時、もう魔處は抜けてゐたのだと知るだらう。

「程左様に戒めを受けたにも拘らず、御輿に憑かれた癡者共は闇雲に叢林を漂泊する。前のめりにのめり込む」、經る年月に埋もれた古人の足迹を草の根分けて嗅ぎ出さうとする學者に似たり。此御輿の番で先を行くのは元來修驗を禁ぜられたる千禰てふ女人。裏手を支へるは若彦なるいゝ氣な兄ちゃん。旅の黒幕たる御輿に導かれて行くならば如何なる難路でも間違ひないと盲信する無謀な連中だ。故に諦めが悪い。晝も小暗い下陰ですたすと歩を進める千禰の足捌きは死んだ柩の埋火を掻き起すすらひなり。不逞不逞しい大股で思考は誦す。

（此たびは。幣を取らなきや。なりません。幣を取らなきや。幣を取らなきや。左へ。右へ。えい、こら。あれはいぢらしい春心。どんなに待つたでせう霞の向うから貴方

# 占ひ師にならう

文：刑部しきみ

## イントロダクション

占ひ師の刑部しきみです。色々あつて在宅占ひ師になりました。

別に人が嫌ひでも占ひ師にはなれますし、手帳持ちの精神障害者でも、性格が悪くても別に問題はありませんし、勿論學歷も必要ありません。實際に自分がさうです。占術の知識と経験があれば、今日からプロの占ひ師でござい、と名乗つた時から誰でもなれます。良かつたですね。

氣になる問題は「占ひ師は食へるかどうか」ですよ。

経験による結論から申しあげると、特殊、かつ長時間占ひ師として待機し、繁盛してゐる時は複數人の鑑定を同時に行ふと云ふ、勤め人以上にスケジュール管理が出来て勤勉な人間でないと、副業以上のものにするのは大變難しい、

ので、はい、解散……。

と云ふのは流石に夢も希望もないので、私がどうやつて占ひ師となつたのか位は、一應参考になるかと思ひますので後半で書いておきませう。

しかし先づは占ひが出来ないと、お金を貰ふ以前の問題です。占術の知識と経験の積み方はそれぞれですが、金銭に餘裕がある人はオンラインの通信講座や占ひの専門學校等に行くと云ふ手もあります。實際にプロに鑑定の添削をして貰へたり、ライティングの技術などを教へて貰へるのが良いですね。

私は貧乏人なので、小さい頃からの書籍での獨學と實踐です。これでも一應普通の人よりは占術の書籍を讀んでゐるし、普通の人より仕事で他人向けの文章を書いてゐると思ふし、お金を戴いて他人の鑑定をした事もあるので、だからこそ占ひ師になつたのですが、普通の人が大人になつ

# フェディバースのス、メ

文：コシヌケ1040

みなさま御存知の通り、俺達が愛したツイッター（Twitter）は死んだ。何故か。イーロン・マスクが坊やだからである。とまあ冗談はともかく、昨年二〇二二年にアメリカの暴れん坊たるマスクがツイッター社を買収してしまひ、システムはメチャクチャになった上、本年二〇二三年の七月後半からはX（エックス）などといふ面白くもなるともない名前になってしまった。俺はこれからもツイッターと呼び続けるが。

俺がよく聞いてゐるJ・WAVE（ジェイウェイブ。東京のFMラジオ局）の番組では、ツイッターを使ってリスナーからの投稿を拾ったり、番組からのお知らせを廣めたりしてゐることが多い。そんなラジオ番組の出演者が「ツイッター……いや、エックスに變つたみたいですね」なんて感じで改名自體をネタにしてゐたり、その後も慣れない感じを漂はせたりしてゐたが、二ヶ月も経つと「ツイッター

改めエックス」とか「エックス、舊ツイッター」とか「エックスのハッシュタグ何々で……」とすらすら言ふやうになってきた。

ちなみに英數字一文字の名稱はSEO（検索エンジン最適化）ひいてはブランディングの觀點からすると最惡の部類だらう。いま（二〇二三年九月時點）「X」でググると、検索結果にはX Japanのツイッターアカウントが最上位に出てくる。なるほど、現時點のグーグルにとって最も「X」といふキーワードに相應しいのは、ツイッター改めXにあるX Japanのアカウントといふことである。そしてツイッター改めXのトップページは検索結果に見當たらぬ。各種メディアを見てもXひと文字では意味が通じにくいとの判斷か、「X（舊ツイッター）」のやうに「ツイッター」が添へられてゐる。

ところでそもそも一度は買収を撤回したマスクに「買収

# 原稿を書いてみませんか

## 中

国語の表記に、中国本土とシンガポールでは使はれる「簡体字」と、台湾や香港では使はれる「繁体字」があるのと同様、日本語の表記にも漢字と仮名についてそれぞれ二種類あります。「正漢字」（いはゆる「旧漢字」）と「新漢字」、「正仮名遣」（いはゆる「旧仮名遣」、「歴史的仮名遣」と「新仮名遣」（「現代仮名遣い」のこと）です。

「正漢字」や「正仮名遣」は、絶滅した国語表記ではありません。過去文献の引用、短歌や俳句をはじめとした芸術において、現代でも細々と使はれてゐます。

現代において、「正漢字」「正仮名遣」を読んだり書いたりする方には、様々な立場の方がいらつしやいます。

- ・過去文献の引用に限り正字や正かなで書きたい
- ・短歌や俳句に限り正かなで書きたい

- ・ブログや芸術作品等を正字や正かなで書きたい

- ・今のところ書く事はしないが、正字や正かなで読みたい

本誌は、そんな皆さんを応援する為に、「全頁歴史的仮名遣（固有名詞や引用文は除く。また、漢字は正漢字を歓迎するが新漢字も可）の同人誌」として毎年発行してゐます。

## 原稿募集のお知らせ

「正漢字」「正仮名遣」は、読むだけでも十分楽しめますが、実際に書いてみると更に楽しめますし、学ぶ近道でもあります。皆さんも試してみませんか。

『「正字正かな」で原稿を書いても印刷を断られたり、『新字新かな』に直されたりする』のが残念ながら当り前の現

在、本誌は『正漢字』『正仮名遣』の原稿がそのまま掲載される」のが「当り前」の、謂はば「解放区」です！

## 募集内容

- ・ 毎号のテーマに基づく随筆や論攷等（テーマ投稿）
- ・ 漢字や歴史的仮名遣について、国語国字問題について
- ・ コンピュータで正漢字や歴史的仮名遣を使ふテクニク
- ・ 歴史的仮名遣による詩歌、小説、随筆、漫画等の作品
- ・ 半ページ〜四分の一ページ程度の短いコラム

国語問題に関する記事が多く集まる本誌ですが、テーマや国語問題に関係しない記事もむしろ歓迎いたしますので、お気軽にお書きください。

毎年秋発行、次号〆切は、二〇二四年九月頃を予定してゐます。次号のテーマはウェブサイトで発表予定です。

なほ、執筆者や校正・組版等の作業を手伝ってくださつた方には、完成した冊子を二冊無料進呈致します。

## 投稿方法

本誌への投稿には、グループへの入会や会費のお支払い

は必要ありません（逆に、原稿料もお出しできません）。ただし、スムーズな聯絡<sup>れんらく</sup>の為に、原則として電子メールアドレスをお持ちの方に限定致します。「はなごみ」のメールアドレスまで、ご遠慮なくメールでお問合せください。原稿も、メール本文に書いていただくか、メールにファイルを添付してお送りください。なほ、記事に関するご確認のため、編輯・校正・組版担当者にメールアドレスをお伝へ致しますので、あらかじめご諒承ください。

また、スムーズな編輯・校正の為、以下の情報もメールでお知らせください。

### ①ペンネーム

- ②掲載ご希望の方はTwitter IDや電子メールアドレス（読者からの聯絡先として、なるべくご記入ください）
- ③ジャンル（解説、評論、小説、詩歌、随筆、漫画等）
- ④内容（国語教育に関するエッセイ、学園もの小説等）
- ⑤未完成の場合は予定文字数（文字数か原稿用紙換算）
- ⑥漢字、仮名遣

（正字正かな・新字正かな・広辞苑前文方式・新字新かな）

正字正かな 「櫻色のバッグを持つてゐる」

新字正かな 「桜色のバッグを持つてゐる」

広辞苑前文方式 「桜色のバッグを持つて居る」

新字新かな

「桜色のバッグを持っている」

↓ 「桜色のバッグを持つてゐる」

に直して印刷

(ご希望により新字正かなではなく正字正かなにも直せます)

⑦捨て仮名(ひらがなカタカナとも使ふ・カタカナのみ使ふ「推奨」・使はない)

ひらがなカタカナとも 「桜色のバッグを持つてゐる」

カタカナのみ使ふ 「桜色のバッグを持つてゐる」

使はない 「桜色のバッグを持つてゐる」

一) 新字正かな兼新字新かなの事。ひらがな・カタカナとも捨て仮名使用推奨。言葉選びの難易度が高いので、歴史的仮名遣に十分慣れた人向けです。

二) 小さい「や」「ゆ」「よ」「う」の事。

## ファイル形式

文章は原則としてテキストファイルでお送りくださるか、メール本文にそのまま書きください。ワードや一太郎等ワープロソフトのファイルでも構いませんが、文章校正機能を使用可能なワードまたはLibreOfficeを推奨します。

くの字点(ゝ・ゞ)は「／」「／」で代用しても構いません。「正字正かな」をご希望の方は、コンピュータの一般的な文字コードに無い文字(二点之繞や「示」の形の示偏の漢字等)は新字で代用するか、注意書きを附加してください。編輯時に、フォントに字形のある範囲で、印刷用の正しい字形に直します。

写真やイラストや図ですが、残念ながらカラーは出ません(口絵を除く)。画像ファイルは、原則として文章とは別にお送りください(ワードで位置決めした内容をそのまま使ふのではなく、こちらで組版ソフトを使つて組み直すので、元ファイルが必要です)。また、可能な範囲で、縮小されてゐない、なるべく大きなサイズをご用意ください。なほ、本誌のサイズはA5版です。詳しくはメールでお問合せください。

## 著作権について

皆様の原稿は、「同人誌(紙版および電子書籍版)」の原稿として「および」必要に応じ、同人誌頒布の際の内容見本として「使用しますが、作者に許可をいただかない限りは、それ以外の目的(他の本の原稿に転用する等)」では使用しません。



また、前述の目的に限って、皆様の原稿を使はせていただきますが、原稿の著作権そのものを譲渡していただくといふ意味ではありません。後でご自分の原稿を（ウェブサイトに載せたり個人誌・同人誌・商業誌に載せる等）どう活用していただくかは、お任せします。

それでは、皆さんの作品を心よりお待ちしております。



## 本のDIYで……更に表現の自由！

従来は……



~~正漢字・  
歴史的  
かなづかひ~~

で書くのは  
自由でも



→  
修正

新漢字・  
現代  
仮名遣い

に直して  
出版します

これからは……



~~正漢字・  
歴史的  
かなづかひ~~  
(本誌はこちらが原則)

新漢字・  
現代  
仮名遣い

どちらもパソコンで自己出版